

❶ 議会だより

おおえ

2016.1.21

No. 138

願いをこめて“団子さし” (わかば保育園)

平成26年度一般・特別会計決算を認定
平成27年度補正予算
すばり!! ここが聞きたい(一般質問)
私もひとこと

●発行 / 大江町議会
●編集 / 議会広報常任委員会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町左沢882-1
TEL (0237)62-2228 FAX (0237)62-2155

新スタート

とうございます

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、素晴らしい新年を迎えられたことでしょうか。昨年9月の町議会議員の改選により、新たな議会構成でスタートいたしました。12月の定例会では、8名による一般質問など、町民の負託にこたえるべく活発な議論が交わされました。



今年もよろしく願います。

議長 小野 祐一

また、昨年は、山里交流館のオープン、藤田地区住宅団地の分譲、平成28年6月完成予定の中央公民館の着工など、大きな事業が展開されました。町の少子高齢化、人口減少問題、空き家対策、新規就農者受け入れ、定住促進等、議会としても、執行部と共に努力を重ねてまいりました。これからも、町民の皆様のご意見や要望を町政に反映し、地域の特性を生かしたまちづくり、そして、開かれた議会運営に努めてまいります。町民の皆様の一層のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



楯山公園からの初日の出

議会だより

おおえ

NO.138

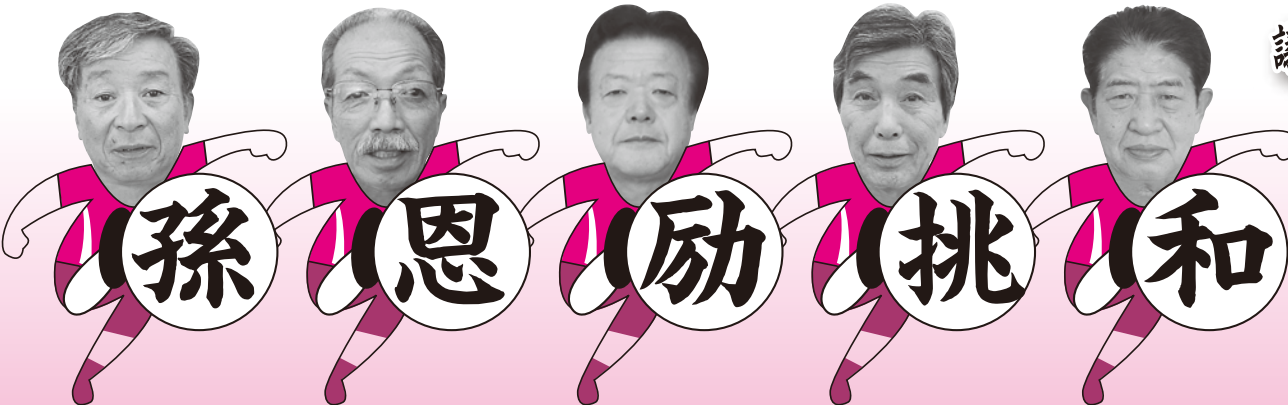
目次

- 2~3 議長新年のあいさつ
- 4~15 12月定例会
- 6~7 行政報告・人事
条例制定
- 8~13 平成26年度決算
- 14~15 平成27年度補正予算
- 16~24 一般質問
- 25 第3回臨時会
- 26 委員会活動報告
- 27 大江・西川・朝日
両町議会議員協議
会総会
- 28 私もひとこと

議員今年の**一文字**

(議席順)

11人を合わせて
キックオフ!!



7 伊藤MF

8 結城DF

9 土田DF

10 松田DF

11 小野GK

熱い思い・希望

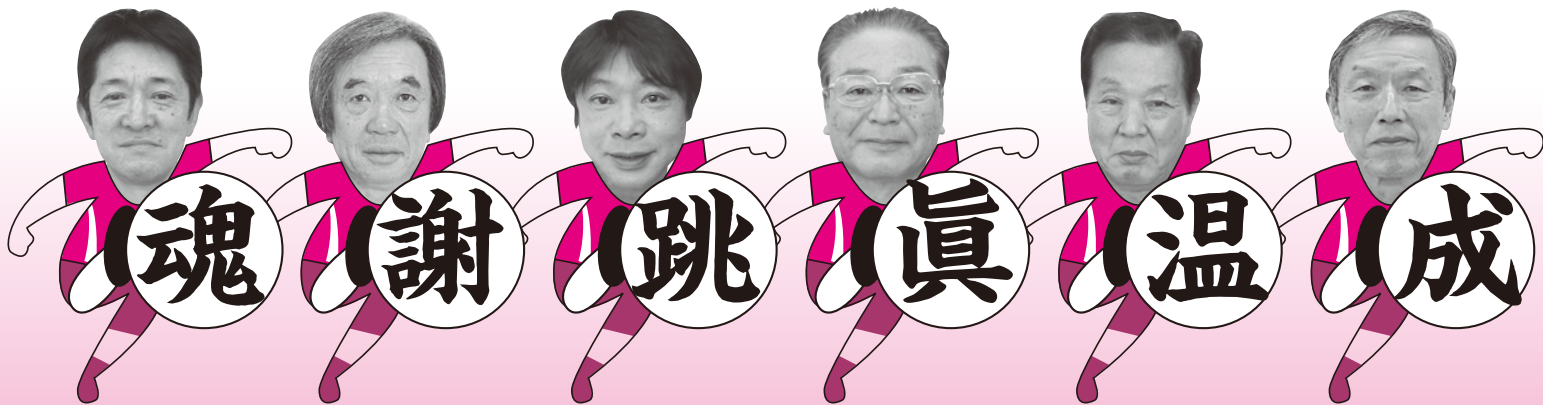
明けましておめで

さあ、大江に住もう！理想の暮らし
藤田地区住宅団地 分譲開始 販売好調！



お問い合わせ先 大江町政策推進課 ☎0237-62-2118 FAX.0237-62-4736

A HAPPY NEW YEAR!



1 関野FW

2 毛利FW

3 安食FW

4 佐藤MF

5 菊地MF

6 宇津江MF



町の
家計簿

12月定例会

平成26年度決算を認定!!

平成27年第4回定例会は、12月3日から11日までの9日間の会期で開かれました。本定例会では、26年度決算をはじめ補正予算、条例の制定など18議案、諮問2件、計20件について審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。
一般質問については、8人の議員が子ども・子育て、農業、道路標識整備などについて、町の考えをただしました。

なせば成る何事も！
町の財政は健全性を確保!!
さらに財政の健全化に努めよ！

大きな課題

- 1 旧本郷西小の活用 (写真①)
- 2 旧七軒東小の活用 (写真②)
- 3 子育て支援 (写真③)
- 4 重要文化的景観を生かした観光の推進 (写真④)
- 5 空き家対策 (写真⑤)
- 6 旧きりやか銀行大江支店の活用 (写真⑥)
- 7 高齢者施策の充実 (写真⑦)
- 8 駅前公有地の活用 (写真⑧)





— 山積の課題をかかえ — 限られた財源を有効活用 どうなってるの？ まちの財政力

年度 区分	24	25	26	説明
財政力指数	0.257	0.264	0.270	町の財政力を示す指数で、指数が高いほど財源に余裕があるとされている。1を超える と普通交付税の交付を受けない。
経常収支比率	86.0	85.1	85.6	毎年度経常的に収入される一般財源のうち、毎年度経常的に支出される経費に充当 されたものが占める割合で、財政構造の弾 力性を示しており、比率が低いほど弾力性 があるとされる。
自主財源比率	28.2	26.7	27.5	町が自らの権能を行使して調達しうる財源 (町税や使用料及び手数料等)で、この割 合が大きいほど財政運営の自主性が高ま る。
経常一般財源比率	101.9	105.0	102.5	100%を超える度合いが高いほど、歳入 構造にゆとりがあることを示す。
公債費比率	8.3	7.4	5.3	公債費(借金の返済)に充てられる一般財 源の額の標準財政規模に占める割合



行政報告(町長)

上級行政職1名採用

平成28年4月採用予定の職員採用試験は、昨年より9人少ない11人の受験者にとどまり、ここ数年では最も少ない人数となりました。

10月25日に1次試験に合格した3人で2次試験を行った結果、文化財関連業務志望者と土木技術職、初級行政職については合格基準に達したものがいなく、上級行政職1名のみを合格者と決定しました。

将来あるべき町の姿を策定!

大江都市計画マスター

プランは、平成10年に第1次、平成20年に第2次の計画を策定しましたが、県の地域マスタープランが平成26年度に一部変更されたのを受け、見直し

作業を進めてきました。しかし、策定後6年しか経過していないことから、基本的な方針変更は行わず、文言の修正等、簡易な見直しを都市計画審議会に諮問し、答申を受けましたので決定しました。

さらに積極的な広報を!

藤田地区住宅団地の分譲状況は、11月1日から分譲受付を行っています。12月1日の時点では、特別分譲1区画を含む10区画の分譲者が決定しました。

分譲決定者は、7名が町内にお住まいの方で、3名は、寒河江市、河北町、神奈川県横浜市の方となっています。

年代別では、20代の方が3名、30代5名、40代1名、60代1名となっていますが、18才未満のお子さんのいる子育て世代が9名となっています。

さらなる分譲促進と早期完売に向けてPR活動を進めてまいります。

購入者にうれしい4つの特典

特典① 子育て応援

子どもさん交付金
最高100万円

※義務教育就学前の子どもが対象
※町内で使える商品券で交付



特典② 早く住んで良かった

分譲契約締結日から2年以内に団地に住宅を建設し定住する世帯に

50万円の
早得交付金



特典③ 理想の木造住宅

大江町型住宅の仕様を満たす住宅を新築する世帯に

100万円の
建築奨励
補助金



特典④ 温泉王国

大江町は温泉が豊富

テルメ柏陵をはじめ、柳川温泉、柏陵荘の温泉が楽しめます!

3年間
無料入浴
パスポート券贈呈

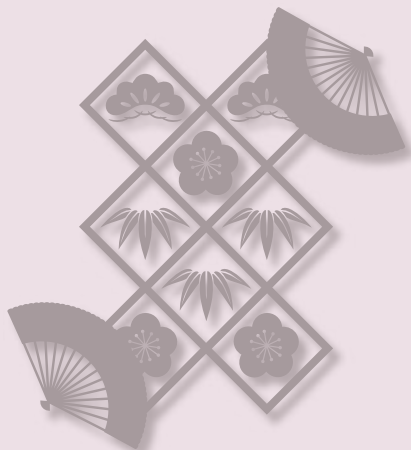


議長からの諸般の報告

11月12日にNHKホールにおいて、町村議会議長会全国大会が、衆参両院議長はじめ総務副大臣、地方創生担当大臣、その他多数の国会議員の列席のもと開催されました。

全国の町村は、少子・高齢化や過疎化、依然として厳しい経済・雇用情勢にあり、地域の活力が減退している中、町村議会は地方創生の実現をめざし、果敢に行動していくことを宣言しました。

また、東日本大震災からの復興と、大規模災害対策の確立や地区要望、豪雪地帯の振興に関する要望など42件の要望が決定され、緊急かつ重要なものとして、地方創生の推進に関する要望などの特別決議6件の実現に向け、全国の町村議会が共に行動することを決意しました。



西村山広域行政 事務組合・ 議会報告

平成27年10月27日

○副議長選挙で小野祐一氏に決まる。

○26年度一般会計歳入歳出決算 歳入17億8千772万円 歳出17億7千316万円 差引残額1千456万円

○26年度クリーンセンター・斎場特別会計歳入歳出決算 歳入15億5千989万円 歳出15億4千399万円 差引残額1千950万円、このうち最終処分場整備4万円を繰越明許とする。

○26年度交通災害共済特別会計歳入歳出決算 歳入2千370万円 歳出2千287万円 収支は83万円の黒字

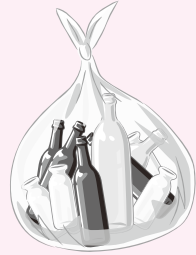
○クリーンセンター手数料条例並びに証紙条例の一部改正

家庭系ごみの 分別が変わります

平成28年4月1日から、ごみ集積所への出し方が変わります。

「資源ごみ袋（だいたい色文字）」に分別している「その他のフラスチック」は、「もやせるごみ」として取り扱うこととなります。また、「資源ごみ袋（青色文字）」で3種類に分別しているガラスびんは、色にかかわらず1袋にまとめて出せるようになります。

「もやせるごみ袋」には、新たに大型40Lサイズ（60円）が加わります。パソコンも家庭ゴミとして出せるようになります。



人権擁護委員候補者の推薦

次の2人の方について、全会一致で適任と認め、推薦に同意しました。

齋藤 勝彦さん（用）



林 俊一さん（葛沢）



現人権擁護委員の佐藤廣子さんが平成28年3月31日をもって任期満了となることから、後任として齋藤勝彦さんの推薦がありました。

齋藤さんは大江町職員として永らく勤務され、退職後は社会福祉協議会の事務局長として、社会福祉の向上に尽力してきました。

人格、見識とも高く、地域社会の信頼も厚い方です。

現人権擁護委員の鈴木修一さんが平成28年3月31日をもって任期満了となることから、後任として林俊一さんの推薦がありました。

林さんは大江町職員として永らく勤務され、在職中は健康福祉課などで、町民福祉の向上や生活支援などに尽力してきました。

人格、見識とも高く、地域社会の信頼も厚い方です。

条例の制定等

議第67号

大江町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定等に関する条例

個人番号の利用等について、条例で定めるものです。

議第68号

大江町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律（平成24年度法律第63号）の施行に伴い、本条例の一部を改正するものです。

議第69号

大江町保育の必要性の認定に関する条例の一部改正
職業能力開発促進法

（昭和44年法律第64号）の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するものです。

議第70号

大江町消防団に関する条例の一部改正

大江町消防団の団員の確保を図るため、本条例の一部を改正するものです。

議第71号

大江町案内センターの指定管理者の指定

指定管理の期間が平成27年度末で満了となる大江町案内センター（道の駅おおえ）について、選定委員会にて審査を行い、次の団体を指定管理者の指定とすることを受けて、全会一致で可決しました。

・住所 大江町大字藤田552
・団体名 有限会社
フルーツ館おおえ
代表取締役 新関一利

チエツクしました!

歳出総額：77億2,146万円

(一般会計・特別会計)

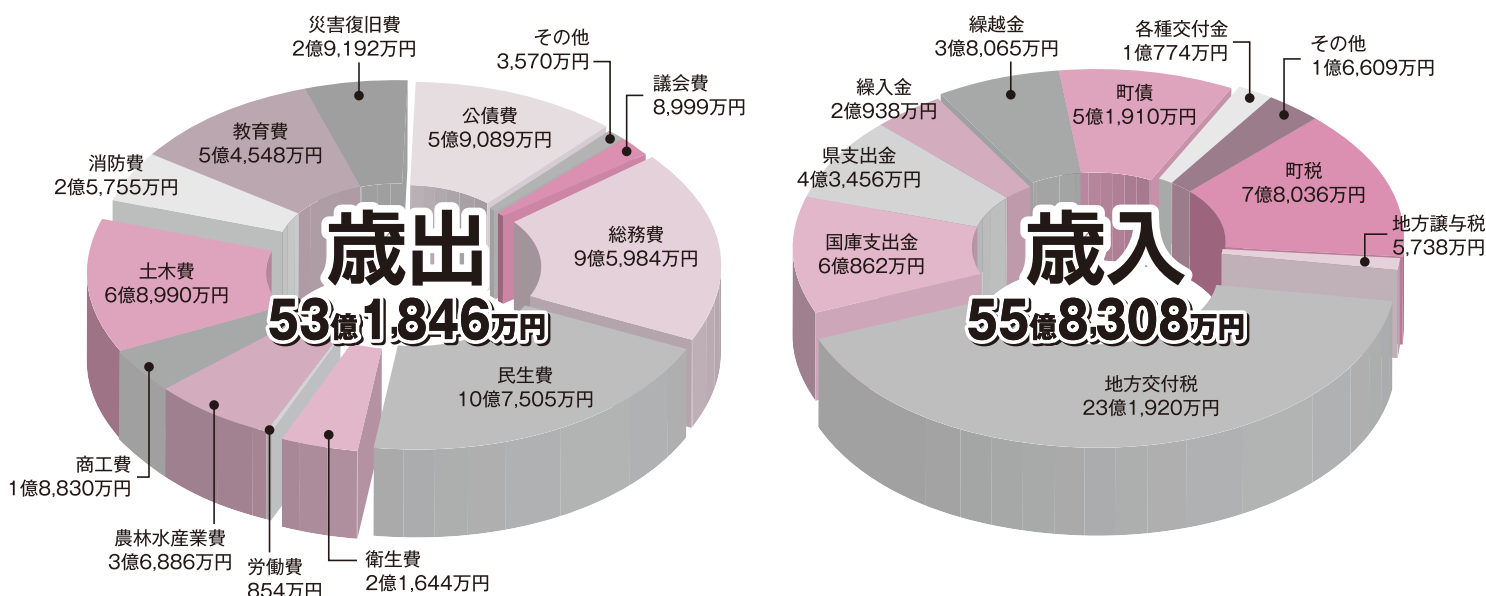
平成26年度

内・一般会計

歳入：55億8,308万円 歳出：53億1,846万円

歳入総額－歳出総額＝2億6,462万円

一般会計内訳



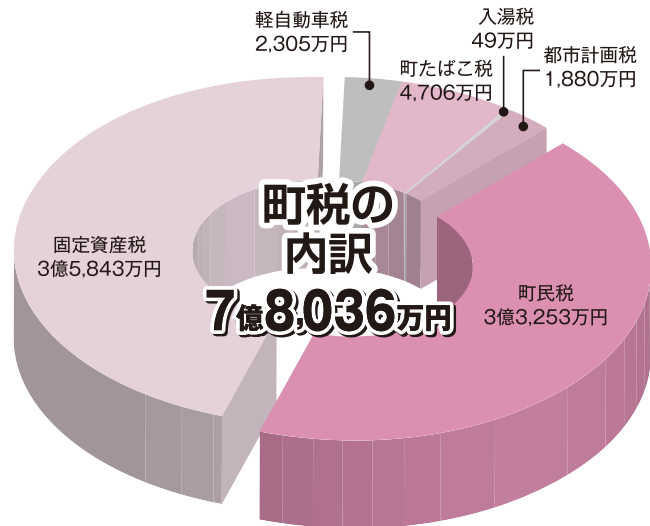
まちの家計簿を

歳入総額：81億3,119万円

(一般会計・特別会計)

町民1人
あたりの
町債残高
(一般会計)

52万4,317円



特別会計・水道事業会計

会計名	歳入(収入)額	歳出(支出)額
国民健康保険	9億6,288万円	8億7,911万円
後期高齢者医療	9,567万円	9,374万円
介護保険	10億4,162万円	9億8,962万円
宅地造成事業	1億2,899万円	1億2,875万円
簡易水道	958万円	804万円
公共下水道事業	2億6,581万円	2億6,103万円
農業集落排水事業	4,357万円	4,270万円
水道事業	3億7,428万円	4億4,565万円

※水道事業の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、当年度損益勘定留保資金で補てん。

決算の徹底チェック

決算特別委員長
伊藤 慎一郎 議員



施策の結果を

確かめる

決算特別委員会は、12月9日から11日まで
の3日間開催され、一般会計、特別会計の
8会計について審査されました。

活かせ！議員の指摘

道の駅の充実

松田委員 設置以来、
年数が経過している。
利便性について検討す
る時期では。
町長 トイレへの苦情
や大型車の駐車につい
て、関係機関と連携し
改善を検討していく。



店内での販売が望ましい

小倉交流館の運営

結城委員 住民が運営
協力金を負担しなくとも
良い指定管理料にすべ
る。
町長 前向きに検討す
る。
きでは。



お食事もできます (おぐら亭)

区の見直し

菊地委員 藤田地区は、
他の地区住民と比較し
て圧倒的に人数が多い。
藤田区編成の見直し
は。
総務課長 行政が主導
してよいものか、地区
住民の中から声が出て
くるものか。後者の方
と考えます。

デマンドタクシー

関野委員 交通弱者は
山間部のみでなく、町
場でも考えられるので
今後の方向性は。
政策推進課長 町内
は現在、デマンドタクシ
ー、スクールバス、町営
バスを運行している。
運輸支局などとも相
談し検討していきたい。

予算のゆくえ...



交通弱者対策のひとつ「デマンドタクシー」

菊地委員 デマンドタクシーの運行は高齢者に大変好評を得ている。デマンドタクシー運行の実態は。
政策推進課長 26年度末登録者数は男70人、女110人で、利用者数は延べ1千865人、タクシー1運行回数は延べ1千198回です。



毛利委員 1集落あたり、2〜3万円の増額はできないものか。

政策推進課長 交付金額の算定根拠と財源を含め検討したい。

集落活性化支援

空き家対策
安食委員 全国的な問題である空き家対策は。
政策推進課長 町ホームページにより空き家情報を発信している。また、空き家の利用促進のため、改修や家財処分に対する補助制度を設けている。

結城委員 1人暮らし世帯において、異常発生により通報のあった件数は。
健康福祉課長 月平均5〜6件です。

緊急通報体制整備

合併処理浄化槽設備
毛利委員 月布地区から以西にかけて合併処理浄化槽設備希望者に補助金の割り増し（プラス5万円）をしているが、26年度は1件のみである。

月布川の清流を守るためにも設備を推進していく必要があるのでは。

建設水道課長 月布以西で設備している世帯は55世帯で、全体の約3割である。

原因はいろいろ考えられるが、お年寄り1人世帯なども多く、有効な普及手段は見当たらない。

新規就農者住宅

関野委員 新規就農者の住宅建築は今年度まで2件であるが、次年度の計画は。
 また、空き家を活用した新規就農者の住宅などは。

農林課長 柳川地区住民からの要望も踏まえ、新規就農者が活動しやすい場所に次年度も計画したい。
 現に、空き家を購入し住んでいる方もいる。



1級河川 月布川

自然の恵み 大江のうまいもの市

佐藤委員 大江のうまいもの市開催の効果は。

今後の展開については。

政策推進課長 当日の売り上げは160万円程度であるが、町内の生産物等のピーアールに大きな効果があった。町特産の魅力を今後の販売促進に結び付けたい。

佐藤委員 町を理解していただく絶好の機会である。今後、さらに内容を充実させる必要があると考えるが。
政策推進課長 秋の物産味覚祭りでは来客数が増えているので、うまいもの市でも単なる物販ではなく様々なイベントを組み入れ、充実を図りたい。



生産者の心を込めた、うまいもの市

ふるさと納税のお返しに

安食委員 町産「山形地鶏」のジャーキーとカルパスをふるさと納税のお返し特典としては。

また、次年度に開発されるフレッシュ(生)肉の首都圏への販売は。

政策推進課長 お返し特典として検討中です。フレッシュ肉の販売促進については県と歩調を合わせ取り組みたいです。



食べたらずめられないジャーキーとカルパス

地元民謡「正調最上川舟唄」に誇りを!

土田委員 毎年開催される正調最上川舟唄全国大会では、町内の出場者がきわめて少ない。また、観客数も少なくなっている。町としての対応は。

政策推進課長 正調最上川舟唄保存会への支援を行いながら、幅広く町民に普及を図りたい。

土田委員 過去の優勝者全員の方に唄を披露していただけなのか。

政策推進課長 前回優勝者の方にはゲストとして披露していただいている。それ以前の優勝者についてはお弟子さんの参加について今後も呼びかけに努力したい。



熱唱!平成27年度の優勝者



全国大会を見守る最上川舟唄碑

305日待機の消防団員に感謝!!

佐藤委員 消防団員の報酬について他市町村と比較し、これで良いのか。

総務課長 ボランティア的な考えだけでは無理もでてきている。県内の状況を見ながら検討していきたい。

関野委員 災害後の出勤では、会社を休んでいる団員もあり、それなりの対価を考えると。

総務課長 休みの対価としてはそぐわない。県内他市町の中でもそこまで行っていない。



頼もしい消防団の活躍

オーステップの今後の方向性は

松田委員 今後の独立した体制について伺う。

教育文化課長 会員が伸び悩んでいる状況下であり、28年度に方向性を決めたい。

松田委員 健康づくりの面からも継続を要望する。

教育文化課長 検討していきます。



ダンス・ダンス・ダンス

いじめ問題の対策は

毛利委員 県内のいじめ問題発生件数が多くなっている。当町における問題は。

教育長 学校、保護者間の連携のもと、いじめで苦しんでいる子どもの把握に日々取り組んでいる。

皆無ではないが、問題の原因について、最大限取り組んでいる。

関野委員 無記名アンケートにより、表面に出る問題でなく、子ども間で起こっているいじめに対する調査は。

教育長 小中学校の計画にある定期的なアンケートを実施したほか、子どもと話し合い、細かく内面を聞き出す学校教育を実施している。



心和む大山公園のヒメサユリ

議案審議

一般会計補正予算(第3号)

補正予算は、一般会計・特別会計が提案されました。
 一般会計の補正は、歳入歳出に2,810万円を追加し、総額
 56億6,210万円とするものです。
 採決の結果、全員賛成ですべて原案のとおり可決しました。

主な補正予算

歳入

- 普通交付税(追加) 5,077万円
- 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(追加) 2,929万円
- 公立学校施設整備費 317万円
- 機構集積協力金交付事業費(追加) 201万円

歳出

- 農用地流動化奨励事業補助金(追加) 123万円
- 機構集積協力金(追加) 201万円
- 観光キャンペーン負担金(追加) 2,929万円
- 除雪業務委託料(追加) 1,500万円
- 県道改良工事負担金(追加) 1,206万円
- 非常備消防費(追加) 111万円



雪のイベントに大勢の方が来てくれることを願って…

降雪が少なく心配さ
 れますが、国からの地
 域活性化支援交付金を
 活用し、寒河江市の最
 上川ふるさと総合公園

で観光キャンペーンが
 開かれます。
 ぜひ、多くの方々の
 参加をお願いします。

山形どまんなか探訪
 西村山1市4町で雪祭り
 観光キャンペーン開催

(1月29日～31日)

主 な 質 疑

観光キャンペーン

宇津江議員

地方創生の一環として国からの活性化交付金を活用し、県及び西村山1市4町で雪祭り等のイベントを開催するが、町としての役割と計画を伺う。

政策推進課長

実行委員会の中で役割分担が示されますが、周知について、町の広報を含めて対処したい。

計画としては、雪の文化や生活をコラボ（抱き合わせる）する形で、町の特産品などを提供していきたい。

女性消防隊員

佐藤議員

女性消防隊員組織の内容を伺う。

総務課長

当初、10名程度の隊員を予定している。

活動内容は、春の演習、防災訓練、地域の防災活動の中でソ



初しほり大江錦をはじめ、特産品をPRするチャンス

が、現状の農地面積と耕作放棄地面積はどのくらいで、毎年どのくらい増加しているのか。

農林課長

また、農用地の集積はどれくらい進んでいるのか。

本町の農地面積は1千335haで、遊休農地は平成26年12月末で230・2ha、遊休率で17・2%となっており、平成25年12月末の遊休農地226・7ha、遊休率17・0%で3・5ha

増加している。平成24年では219・3ha、率では16・4%となっており年々増加している。

農用地の荒廃状況は

毛利議員

本町の農業の大きな課題として、農地の荒廃があげられる

担い手への農地集積は、平成27年度末で589・5ha、集積率で44・2%となっており、年々増えている状況にある。

大江町区長会役員と 議会議員との意見交換会

平成27年11月19日、区長会役員の方々と、大江町の課題や、それぞれの立場においての考えなど、活発な意見交換会が行われました。

区長 大江―西川線県道の整備について、顔好地区く月布橋間も整備していただきたいのですが、県への要望活動などは行っているのか。

区長 少子高齢化の中で、大江町も「大江町人口ビジョン」と「大江町総合戦略」の策定を進め、町民へのアンケートも実施してまとまったようですが、議員の方々も公約を掲げて当選されたわけですから。今後の大江町のあるべき姿をどのように考えるのか。

議員 11月17日に大江町、西川町の全員で協議して要望書を作成した。

議員 少子高齢化は全国的な問題だ。住宅団地の造成など人口減少の対策をしなければならぬ。

その他、空き家問題、子育ての課題、議員定数の件で話し合い、また、今回の選挙での訴えを全議員が説明しました。お互いに「この町を良くしたい」という認識では一致したと思います。

美郷地区では、夕方多くの子どもたちが遊んでいる。あのような状況が町の活気につながり、町のあるべき姿だと思う。

ずばり!!

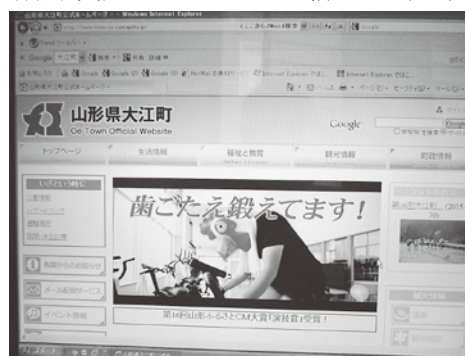
ここが聞きたい 新提言

一般質問は、議員にとって、住民から大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、議員自らも政策提言を行い、政治活動を明らかにします。〈本会議場での持ち時間は1人1時間〉

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
17	結城岩太郎	子ども・子育て支援新制度について
18	土田 勵一	1. 危険な通学路等への路面標示（標識設置）について 2. 多くの方々が危険と感じる道路には歩道設置を
19	安食 幸治	JR北海道がデュアル・モード・ビークル（DMV）開発を中止したが、これに対して町の対応は
20	佐藤 敏春	1. 就学前の子育て支援について 2. （仮称）道路監視見守り隊の設置について
21	関野 幸一	大江町行政の組織改革と商工業、観光の振興について
22	毛利登志浩	1. 次期大江町町長選挙に出馬するのか否かの考えを問う 2. 指定管理者制度の現状と今後の方向性について
23	伊藤慎一郎	1. TPP環太平洋連携協定大筋合意について 2. 通学路の安全性について
24	松田 敏男	1. 古寺地区（鉱泉）への新たな登山基地としての拠点づくりについて 2. 道の駅の充実について

次回定例会は、
3月開催予定です。
ぜひ傍聴においでください。

議会中継をインターネット配信しております。





結城 岩太郎 議員

子ども・子育て支援新制度を問う

町長／保育料の大幅な削減は無理

質問 保育料について、大多数の市町村は

国の基準に対して独自に軽減を図り、保育料を設定している。

当町での軽減を伺う。

町長 現在、国基準の54・16%の軽減を図っている。

質問 今後、もっと大胆な保育料の軽減を行う考えはないか。

町長 町の保育料の平均額は一人1万5千570円で、国の1/2である。

経済的負担の軽減についてさらに検討していきたい。



子育て真っ最中

質問 「いきいき子育て支援事業」では全ての保育料が納付された後に支給されているが、当初から軽減された保育料で納付できないのか。

健康福祉課長 国の活性化交付金を当てる関係でできない。

質問 納付に二重手間にならないような制度について、他市町村と

連携して国、県に働きかけをすべきと考えるが。

町長 努力していく。

質問 山形市では保育料の完全無料化を掲げ、負担を大幅に緩和する方針である。

本町としての考えは。

町長 財政負担も大きいことから大幅な減額は無理である。

子育て支援センターを駅前広場に

質問 場所の選定について伺う。

町長 統合する保育園と併設したい。

質問 駅前の賑わいや町の活性化を考える

と駅前がふさわしいと考えるが。

町長 今後、マーケットながら、駅前の整備を考えたい。



子育て支援センターの様子

議員のつぶやき
子どもは地域の宝
「子どもの貧困」は国として
4兆円の赤字と試算。
これを変えなければ
いけない!

*いきいき子育て支援事業
3人目以降の児童の保育料等を無料とする町の事業。保護者は保育料等をいったん納付し、後日返還される。

危険な通学路等への路面標示を

町長／必要に応じ、要望している



土田 勵一 議員

質問 春先は除雪により、路面標示の塗装が剥がれているものや、薄くなってわからない標示が目立つようになる。対応を伺う。

町長 道路パトロール等での現状把握と、地域の方々、交通安全関係団体からの情報をもとに確認しており、必要に応じて随時、寒河江警察署に要望を行っている。今年も、五差路からセブンイレブン前までの横断歩道について対応した。



白線が消えかかった歩道

質問 外側線やグリーンベルトの塗装は、考慮し、優先順位をつけて整備していく。

町長 歩行者を守る大事な施設であるとして認識している。順次、整備を進めているが、交通量の多少、道路幅員を



通学にやさしいグリーンベルト



安心安全な通学路の整備を！（町道前田線）

質問 町道前田線は歩道のない通学路になっており、登校時間と通勤時間帯が重なり、大変危険な路線となっている。早急に対処すべきと考えるが。

町長 JR東日本をはじめとする用地のご協力を含め、事業化を検討していく。

町長
事業化を検討していく
町道前田線の歩道整備を



安食 幸治 議員

JR北海道が、デュアル・モード・ビークル(DMV)開発を中止したが、町の対応は

町長／DMV事業は継続し取組みを進めていく

質問

公共交通は、大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標4にもかかげられている。

デュアル・モード・ビークル協議会では、今後どのような対応がされるのか。

町長

JR北海道に確認したところ、今後も継続。見合わせの方針ではあるものの従来からの方針、体制が変わらないとの回答である。協議会としても、これまで同様の取り組みを進めていく。



デュアル・モード・ビークル (JR北海道)

質問

左沢と荒砥を結ぶ幻の左沢線での使用や、JR左沢線を利用する町民の方から特に要望が多い山形駅発午後1時、2時台の寒河江駅止まりの列車の、左沢駅から寒河江駅間での使用は今後どうなっていくのか。

町長

DMVの運行を考えているのは、廃線になったJRの路線。JR左沢線は廃線になっ

質問

ていなので運行できない。

質問

町独自でデュアル・モード・ビークルを購入するのはどうか。

町長

DMVは1台3、4千万円。駅のホーム等の改造等もあり、一つの町では膨大な費用がかかり、現実的に困難である。

質問

JR左沢線山形駅発1時台か2時台の寒河江駅止まりの列車のうち、どちらかの便を左沢駅まで運行してほしいと願っているが。

町長

利用者の状況や町の持ち出しを検討した上で、お願いをする時期にきているのかもしれない。

質問

同じ時間帯で、JR寒河江駅から大江町に帰るバスの便もないことから、町民に不便をきたしており、この問題も解決に向け努力してもらいたい。

町長

様々な交通機関の接続問題をどう把握するか、交通弱者を救済するか、町民の立場から提言してもらいたい。

質問

車を自分で運転できない町民の方が、河北病院に受診やお見舞いに行くことはできても、帰りの便は、時間的に合

わないことが多い。寒河江駅からバスを利用するにしても、JR左沢線を利用するにしても、町民の方が大江町にスムーズに戻ってこられるような運行体制にしたい。

町長

河北病院へ宮宿行きのバスを置いてつなぐことは、予算面からも大きな課題がある。

***デュアル・モード・ビークル** JR北海道が開発路線対策に生み出した、列車とバスを合わせた特殊車両で、レールと道路の両方を走行できる乗り物。

議員のつぶやき

県立河北病院から公共交通で町に行き帰りができるようになれば良いと思っ
ているんだけど...

就学前の子育て支援について

町長／今後も子育て世帯の負担軽減に努める



佐藤 敏春 議員

質問

保育料の無料化や大幅な減額などについての所見を伺う。また、子育て支援は様々な対応をしているが、国や県との整合性や動向を注視しながらも、他市町村に住んでいる方々から、本町で子育てをしようと思えるような大胆な支援策を是非打ち出しては。

町長

保育料は、国基準の約7割で設定している。また、今年度から



にぎわう子育てサポートセンター

「いきいき子育て支援事業」を拡大し、3人目以降の保育料を全額補助し、さらに、送迎の肩代わりなど負担軽減に努めてきたが、ひとり親の方々の大変な状況も把握しており、今後何が必要か精査して、子育て世帯の負担軽減に努めていきたいと考えている。

道路監視見守り隊の設置について

町長

町道の維持管理のあり方を含めて検討する

質問

現在では町の隅々まで、道路や側溝は整備されたが、所々でひび割れや窪みなどが発生し、安全性のみならず、大きな道路崩壊に結び付きかねない懸念している。本町には、道路行政や



補修工事が待たれる路線

整備に関して高い技術を持つた方々が多い。こうした方々の協力を仰ぎ、週1・2回見回り監視を行い、不具合個所のチェックや、軽微なところは補修するボランティア団体を立ち上げることができないか、町長の所見を

伺いたい。

町長

ボランティア団体を立ち上げるに際して、町道補修に係る臨時作業員の応募状況が芳しくないこと、職を離れた後もその能力を生かしたい方の集まりである「シルバー人材センター」との関わり、また、多少なりとも危険が伴うことをボランティア団体にお願ひするのは是非など問題もあるが、内容次第ではとても面白い提案だと思うので、前向きに検討していく。

議員のつぶやき

地方は少ない財源で必死に頑張っているのに、足を引っ張るのは誰だ、国か？かんべんしてよ!!...



関野 幸一 議員

大江町行政の組織改革と商工業・観光の振興を問う

町長／多くの意見が出てくれば設置を考える

質問

政策推進課の中に、起業推進係及び観光振興係があるが、商工業振興係があるが、商工業係がない。

商工業係すらない現在の体制では、商工業発展に対する町長の取り組みを疑わざるを得ない。

観光に関しては、水郷おおえ花火大会、大江の秋祭りをはじめ、町内の様々な催しを楽しむために、参加者が増えていると思う。

左沢駅前で商業活動をしている私は、平成25年度に国の重要な文化的景観に選定されてからは、本町を訪れる観光客の方々も、少しずつ増えているように感じている。

商工会を中心に、観光

面や人口減少

問題、特に後

継者の育成な

どに取り組み

なければなら

ないと考えて

いるが、行政

の後押しが隣

接市町より弱

いのではない

かと考える。

商工業の活

性化と、町に

多くの人々に

来ていただけるように商

工観光課が必要と思うが、

考えを伺たい。

町長 町民をはじめ、特

に商工観光業の

方々の知恵を結集してい

ただき、行政と一体とな

った新しい取り組みや目

玉となる施策が数多く出

てくれば、専門的な部署

として設置することの必

要性は当然高まると思っ

ている。



現在の政策推進課 商工業対策が弱い…

質問

観光客の大半は土曜、日曜に来町するので、観光案内所を設置して、祭日の対応ができないか。

町長

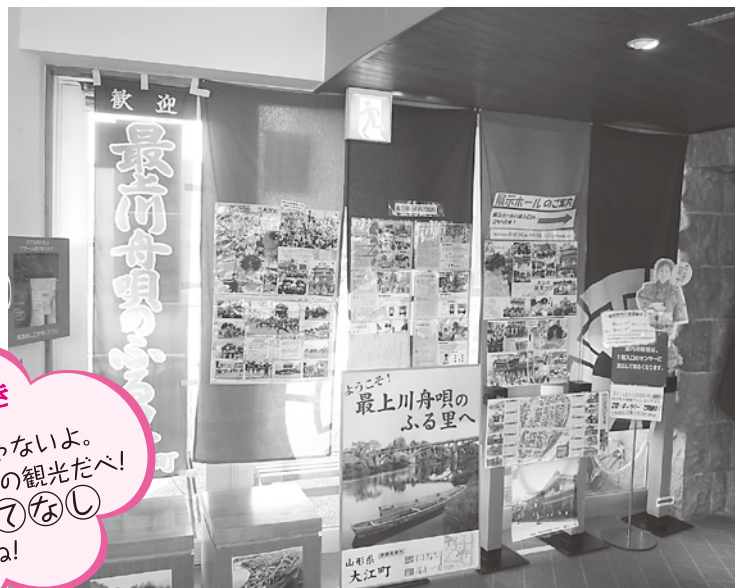
休日の観光案内機能については、「道の駅おおえ」や「大江町交流ステーション」の管理業務に加え、観光案内業務について委託等を行っており、休日も含め、年間を通して町の玄関口として観光案内機能を担っていただいている。

質問

両施設においては、本来の業務をしなから観光案内は大変だと思っている。また、町内の観光施設、景観の看板等の設置については、まだまだ足りないと思うが。

町長

提案を含めて、公の子算を使うことになるので、優先順位を考えたが、主旨に合うように努力していきたい。



パンフレットだけの観光案内所

議員のつぶやき

町の人の観光じゃないよ。町に来てくれる人の観光だべ！まずは(お)も(て)な(し)ですね！

次期大江町町長選挙に出馬するの否かの考えを問う

町長／正月まで結論を出したい



毛利 登志浩 議員

質問 平成20年2月の町長選挙で、有効投票の3分の2という圧倒的支持を得て渡邊町長が誕生した。

2期目は、多くの町民の「町が変わる」「暖かい風が町民に吹く」との評価により、無競争という結果になった。

2期8年の渡邊町長への評価はそれぞれであるが、現在の大江町は、超少子高齢化と人口激減という大きな壁にぶちあたっている。また、中央公民館改築後の管理運営、地域防災無線の設置、駅前等の公有地の利活用など、大きな行政課題が山積していることは言うまでもない。このような極

質問 平成15年に施行された指定管理者制度は、それまで地方公共団体やその外部団体に限定していた公共施設の管理運営を株式会社やNPO法人、その他団体等に代行させることができるようになった。本町でも、テルメ柏陵健康温泉館、小倉交流館、道の駅おおえ、山里交流館など、多くの施設を指定管理者制度により管理・運営を代行させている。制度発足から12年が経

過した今日、本町の指定管理者制度を活用した施設は、目指した行財政の効率的な運営からというのか。

次の点について伺う。

- 現在の指定管理者制度の件数と、管理運営委託料の金額は。
- 現在の管理運営委託料で採算が合うのか。
- 再委託の検証は、どのように判断しているのか。
- 食鳥処理施設の委託料の算出根拠は。
- 近い将来、他の指定管

町長 指定管理者制度を導入している施設は14施設で、うち7施設に指定管理料を設定しており、26年度は黒字決算となっている。

産業振興公社に委託している8施設と、地域住民が組織する団体の5施設は今後も継続して委託を考えているが、公募に

よる施設は、選定基準に基づき、さらに審査会の意見を聞いて選定を行っている。

また、食鳥施設については、県内の類似施設を参考にして適正な額の選定に努める。

既存の施設及び今後の施設については、指定管理者制度の趣旨に合致するかを検証し、判断すべきと考えている。

めて重要な時期に、年が明けた2月に町長選挙が行われる。渡邊町長は、次期町長選挙に出馬するのしかしないのか明確な答弁を期待する。

談したが、次期町長選挙に出馬するか否かは、正月の餅を食べてからでも遅くないとの助言をいただきましたので、それ以上でも以下でもありません。

指定管理者制度の現状と今後の方向性は！

町長 26年度決算は黒字となっているが、今後とも検証していく



テルメ柏陵健康温泉館



伊藤 慎一郎 議員

TPPに反対する

町長／農村、農とついたもの、全体を考える

質問

TPP環太平洋連携協定が10月20日、大筋合意と報道された。

日本国中各地に、食料を生産するために住み着き、生活している人から見れば「仕事を奪い」「生活が成り立たなく」なるのではないか。

一極集中、食料の外国依存によって大江町は無論、小さな町村は限界集落どころか、限界町村になるのではないかと危惧され、見解を伺いたい。

町長

安価な農林水産物の輸入により、国内農林水産業の衰退が懸念され、農家の不安が増している。

これらの事態を踏まえ、共同通信社による「全国

首長アンケート」では、TPP大筋合意への賛否

に対し、「反対」の立場で回答をしている。

TPPだけの議論ではなく、農村、農村の構造改革と、それに負けない町をつくるための議論も必要だと考える。



耕作放棄地が多くなる!!

通学路の安全性を問う

町長

管内の警察署に要望を提出している

質問

町道小漆川小見線

落から横断するの、藤田まで1カ所も横断歩道がない。建設するとき計画はなかったのか。通学路にあたるところにぜひ横断歩道をつくって

ただきたい。

また、「子どもは町の宝」と考えたとき、全児童がスクールバスで通学するなどの考えはないか。

教員

国が定める遠距離児童生徒は、通学距離が、小学校にあって

はおおむね4 km以上、中学校にあつてはおおむね6 km以上となっている。

本町では、この基準に基づきバス通学の地域を決めている。

また冬期間については、国の基準に基づき対象区域を拡げて運行している。

一方で、健全な身体を育成することも大切な視点として捉える必要がある。

通学においても、安全に配慮しながら、徒歩や自転車での登下校が子どもたちの丈夫な体づくりに寄与している面も大事にすべきかと思う。

これらのことから、今



横断歩道が欲しい藤田大明神線

議員のつぶやき

ブレない!
TPP断固反対!
ウソのない政治が欲しい。
民意を大切に!

後のスクールバスの通学については、現状通りに運行したいと考えている。

古寺地区(鉱泉)への新たな登山基地としての拠点づくりは

町長／関係機関と協議し検討していく



松田 敏男 議員

質問 朝日連峰は、全国のハイカー仲間や登山愛好者から注目されている。

古寺鉱泉の駐車場まで道路が開通した結果、年々登山者が増えている中、駐車場から古寺鉱泉までの道路の開設について問う。

町長 古寺鉱泉から川沿いの遊歩道(登山道)の整備は莫大な費用と国の許可が必要。

当面、現状のまま維持していく。

質問 駐車場の拡張整備は。

町長 用地の拡充が不可欠であるので、北側にある国有林内の一部

を利用できないか、関係機関と交渉中。150台から200台は駐車可能と考える。

質問 古寺鉱泉の今後のあり方は。

町長 建屋の老朽化や消火設備の更新義務、冬期間の雪の問題等によ

り改築する必要があり、補助金等も含め検討を重ねていく。

質問 中学生の朝日登山の計画は。

教育長 正規の授業では無理であり、長期休暇の中で実施できるのか検討したい。



登山者のいこいの場 朝陽館

道の駅の充実を!

町長 改善を検討していく

質問 「道の駅おおえ」は年数が経過し、利便性について検討する時期ではないか。

特にトイレ施設、大型車がスムーズに駐車できるように改善すべきでは。

町長 敷地の多くが国道の道路施設となっており、維持管理を県が代行している。

改善について、関係機関と検討を重ねていく。



大型車がスムーズに入れる駐車場が欲しい

議員のつぶやき

あの山に登ったよ... 子ども達が将来に自信をもてるような行事となる中学生の朝日登山を 実行して欲しい。

おおえ町に住もう！理想の暮らし

第3回臨時会

11月4日に開催され、工事請負契約の一部変更について、全会一致で可決されました。

議第66号

平成27年度藤田地区住宅団地造成工事請負契約の一部変更について

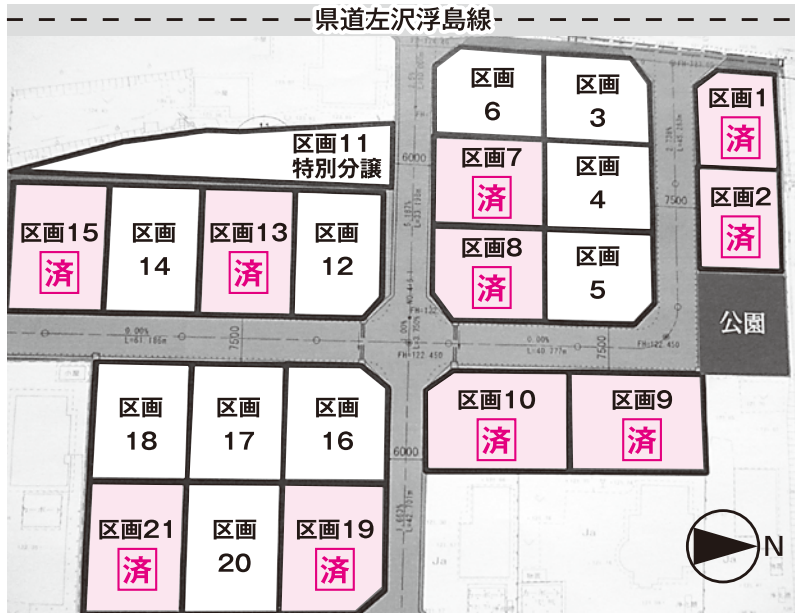
●変更後の請負金額

変更前の1億1千16万円に560万1千960円を追加し、1億1千576万1千960円

●変更理由

土木工事標準積算基準の改定に伴う諸経費等の増額や、コンクリート水路の設置及びゴミ集積場の設置等によるものです。

団地区画図



(平成28年1月21日現在)

山形県町村議会議員研修会から

山形県町村議会議長会が主催する研修会が10月19日、山形国際交流プラザで開催されました。

講師に首都大学東京大学院社会科学研究科教授大杉覚氏、東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学教授金田憲和氏を迎えて講話をいただきました。

大杉氏は「人口減少時代における自治体の在り方」と題して講演。内容は、地域の実情・将来像を「見える化」することが大事で、具体的に分かりやすく現状や将来像を提示すること、議論しやすく、目標を共有しやすくすることが必要。

また、将来像から逆算し、どのような取り組みを、いつまでに、どれだけ遂行すべきか

を割り出し、将来に向けたシナリオを描くことで目標をスムーズに共有し、納得を持った取り組みが可能になるなど、人口減少社会に向き合う自治体経営の姿勢・考え方について学びました。



講師 大杉覚氏

で、うち、米は約1兆1百億円となっています。このため、経済理論から日本農業の国際競争力を高める必要があります。また、東アジア地域は、日本と類似した土地賦存や経済成長による市場拡大が見込まれることから、攻めの農業の可能性を秘める地域として理解することが必要であり、国産農産物の高い品質を保ち、ブランド化を進める差別化戦略が有効である。また、検疫などについて、輸入国側の障壁を取り除かせる努力や、マーケティング・流通面での産地間の協力も必要との講演をいただきました。

金田氏からは「日本の農業の国際競争力を考える」と題してのお話しがあり、今回のTPP合意による農業生産減少額は、政府試算によると約2兆7千億円



講師 金田憲和氏

議会だよりの刷新をめざして

議会広報常任委員会 行政調査

岩手県金ケ崎町

11月24日～25日

議会だよりのコンクールで常時入選を果たしている、金ケ崎町議会広報委員会の広報誌づくりを学びました。

調査の収穫

1 住民の方々の目線
で、わかりやすく作られている。

2 随所にアイデアを盛り込み、記事に町民との双方向性を持たせる努力が伺われた。

3 見出しを工夫し、紙面を盛り上げている。今後とも、収穫をもとに「読みやすい」

「親しみやすい」などの点に留意し、議会だよりの編集に当たってまいります。

その他として、金ケ崎町は、「城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区」として国の選定を受けており、町の歴史文化と似ている感じがし、参考となりました。



多くの収穫をおみやげに持ち帰ります



金ケ崎要書歴史館 佐藤毅館長から説明を受ける委員

下仁田ねぎの町を訪ねました

総務文教常任委員会 行政調査

群馬県下仁田町

11月9日～10日

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に向けては、下仁田町が目指すべき将来展望を示した「人口ビジョン」を実現するため総合戦略を策定し、次の3つを軸とした活力ある町づくりを目指していました。

①生活・育児については「誰もが暮らしやすい環境を整備し、次世代につながる町づくり」

②定住・移住について



その町らしさを活かした総合戦略に向けて

は「自然豊かな風土を生かし、多くの人が住みたくなる町づくり」

③雇用・交流については「産業・観光を活性化し、地域の魅力を高める町づくり」です。

ふるさと納税については、お礼品に町の特産品（安定的に供給できるもの）を取り入れて



全国的に有名な産物を強みにして

大きく伸ばしています。本町でも参考にすべきところがあると思いました。

大江・西川両町 議会議員協議会総会及び研修会

11月17日、両町議員協議会総会に先立ち「大江町の自然と文化を活かしたエコツーリズムの取り組み」について、山里交流館やまさあーべ館長の佐々木隆馬氏から、講演と館内の説明をしていただきました。



講師 佐々木隆馬氏

県へ要望書 を提出

1 主要地方道貫見間沢線の整備促進について（西川町提案）

2 主要地方道大江西川線道路改良の整備促進について（大江町提案）



要望書提出

貫見1号・2号橋桁、姿現す



長年の夢に一步近づく大江西川線

大江・朝日両町 議会議員協議会総会及び研修会

12月15日、両町議員協議会総会に先立ち「元気なまちづくり」について、県農政企画課地域づくり専門員、高橋伸広氏から講演がありました。

「町づくりの計画は自らが描くこと」「補助金欲しさの計画はしないこと」などを力説されました。



講師 高橋伸広氏

デュアル・モード・ビークルの 実用化に向けて！

観光交流を図る

JR左沢線と山形鉄道フラワー長井線の接続、駅と観光地間のアクセス向上を実現し、

公共交通の利便性向上とともに、沿線市町の地域振興を図るため、

デュアル・モード・ビークルの導入を推進するものです。

道路整備を要請

両町の道路整備について、阿部賢一県議会議員に要請しました。



観光交流に期待されるデュアル・モード・ビークル

私もひまわり



佐藤 進
(8区)

私の在住する8区では、平成26年より、夏まつりと秋まつりの期間に8区全戸で明かりを灯し、大江の祭りを盛り上げようと行燈まつりを行っています。

行燈は提灯祭りの代替えとして始まったもので、2年前より床に直置きに行燈を灯し、町の補助を受けながらバージョンアップして現在の行燈に至りました。

夏まつり花火大会の時は、駅前通りに整然と並ぶ行燈の明かりの中を、浴衣姿の若い娘たちがぞろぞろと楽し気に通っていきます。上を見上げると大輪の花火、大きな音に黄色い歓声。秋まつりでは、御免町と七区の囃子屋台、左沢・深沢の獅子踊り、八幡神社の神輿渡御と、いずれも行燈はカメラ愛好者にとって最高の被写体となり、正に「重要文化的景観」そのものです。

札幌雪まつりは、昭和25年に地元の中・

高校生が6つの雪像を大通り公園に設置したのが始まりだそうです。今では、世界中の多くの人たちに愛されるまつりへと成長しました。

8区に行燈まつりも、札幌の雪まつりに近づけるように継承していかなければなりません。「継続は力なり」大江町の観光の夜明けとなるように頑張ります。



幻想的でやさしい灯り

お詫びと訂正

前号137号の5ページの記事で、犬飼藤男氏(7区)は(1区)で、17ページ深沢最上堰頭首工の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は申年です。猿といえば、皆さん何を思い浮かべますか。「さるかに合戦」「吾妻の白猿」「日光東照宮の三猿」など、身近な動物として愛されています。

車が狂っていると思わざるを得ないことが起きていますが、大江町は、穏やかに進んでいることを喜びながら、明るい話題が多い年になるように祈りたいものです。
(記・毛利 登志浩)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【発行責任者】

◆ 議長 小野 祐一

◆ 委員長 宇津江雅人

◆ 副委員長 毛利登志浩

◆ 委員 関野 幸一

◆ 委員 菊地 勝秀

中でも三猿は有名で、3匹の猿が両手でそれぞれ目、口、耳を隠しており、物心がつく幼少期には、悪いことを見たり、言ったり、聞いたりしないで、良いものだけを受け入れ、素直なまま成長させようという教えが暗示されているようです。

一方、国際社会に目を向ければ、イスラム国(IS)の問題、テロによる虐殺事件、温暖化によると思われる大災害が報道されています。また、日本では原発の再稼働、集団的自衛権の問題、そして、連日のように報道される殺人事件など、歯



見ざる、言わざる、聞かざる